

学生・教職員の皆さんへ

寒さが本格的になり、大学も年末年始の休業に入ります。人流が盛んになる季節であることに加え、新型コロナウイルス感染症の第5波が急速に収束したこともあって、色々と休業中の計画を立てている方も多いのではないのでしょうか。

一方で、新たに報告されたオミクロン株には、注意が必要な状況になってきました。現在、この変異株について得られている情報は限定的であるものの、海外での急激な感染拡大は、これまでにない強い感染性を示すものと考えられています。実際、厳しい水際対策にも関わらず、日本国内でも市中感染が疑われる例が報告されました。

本学でも引き続き状況を注視し、必要と思われる対策を講じていきますが、皆さんには大学の休業中も自らと周囲の大切な人たちを守るための対策と行動を心がけていただきたいと思います。マスク着用等の基本的な感染症対策は、既に私たちの生活の一部となっていますが、改めて留意を呼びかけます。

次々と現れる変異株は、ウイルスの弱毒化への進化の過程であるという見方があります。また、ワクチン接種に加え、内服薬の開発も進められています。自らの身を守る感染症対策の「盾」を下ろすことなく、私たち人類とウイルスの攻防を今しばらく見守っていきましょう。

令和3年12月24日  
奈良先端科学技術大学院大学長  
塩崎一裕